

## 【第8期】第10回柳瀬川・空堀川流域連絡会

### 全体会議事録

#### ■開催日時・会場

日時：平成30年6月26日（火） 14:00～16:00

会場：北多摩北部建設事務所 3階第5会議室

#### ■出席者（順不同・敬称略）

都民委員7名／団体委員4名／行政委員8名／事務局等8名

#### ■議事要旨

##### 【今後のスケジュールについて】

※事務局が、資料-5に基づき、今後のスケジュール（予定）について説明しました。

- ・本日と次回で第8期が終了となるので、その先についての、現時点での概ねの予定になります
- ・今期については8月下旬にもう1回、第8期第11回＝最終回を予定しています
- ・同じ頃、8月中旬から9月上旬に、第9期、次期の委員の公募を考えています
- ・各市の市報9月1日号に掲載依頼をしようと考えているが、現時点ではまだ4市と調整をしていないので、確定したら次回のご案内の時にご報告させていただきます
- ・その後、新委員の選考等を行い、10月前半までには、次期委員になっていただくみなさんにご連絡を差し上げたいと思っています
- ・併せて第1回の会議の日程も決めて、10月下旬または11月上旬に次期立ち上げの第1回というスケジュールを考えています

##### 【第9回議事の確認】

※事務局が、資料-3に基づき、第9回流域連絡会での主な議事内容について、以下のとおり報告を行いました。

- ・資料の構成は、1～14ページは全体で行ったところ、途中で地域別のグループに分かれて意見交換を行ったところについては、それぞれのグループごとに別紙1～3として後ろに付けています
- ・前回も概ね今回と同じで、最初に全体で事務局からの情報提供までを行い、特に今年度の工事予定箇所についての説明とそれに対する質疑があった後、各グループに分かれて議論していただき、それぞれ地域別の課題や解決に向けてのアイデアなどについての話し合いが行われました
- ・その後再び全員で集まって、それぞれのグループの代表者からの報告とそれについての質疑があり、最後に委員の方からの提供資料についてご説明いただきました
- ・発言内容や主旨が違うなど、問題があれば事務局までお知らせください
- ・修正して、議事録の最終版としたい
- ・ここ3回、グループに分かれて議論してきたポイントをさらに要約したものを、資料-7にまとめがあるので、この後のグループ議論でご活用いただければと思っています

【空堀川における流量観測結果について】

※事務局が、資料-6に基づき、以下のとおり概要説明を行いました。

- ・流量について、北北建で過去に行った調査を調べたところ、データがあることがわかったので資料を作成しました
- ・北北建が専門の調査会社に委託して行っている調査の結果をまとめたもので、毎年、川の環境調査ということで委託しており、その中で流量も測定しています
- ・平成22年度から平成29年度まで、毎年、夏・秋・冬・春の4季測定しています
- ・調査地点はSt1からSt10まで10箇所あり、橋の名前でおおよその位置が特定できるかと思うが、資料の2枚目の地図にその箇所を載せています
- ・この10箇所では経年的に観測をしていますが、St6は、平成25年度までは少し上流の丸山一の橋、旧川側で観測していましたが、河川改修が進んでそちらに水が流れなくなったために、平成26年度からは高木橋のひとつ上流の下砂橋に調査箇所が変わっています
- ・天候の関係などもあり、調査月日は年度によって若干ばらつきはありますが、3枚目の観測結果表にあるように、概ね夏は7月、秋は10月、冬は1月、春は早春2～3月になっています
- ・平成22年度だけは最初の調査を春の6月にやっているため順番が逆転しています
- ・表に数値がない、グラフの高さが全くないものは、水涸れしていて観測できない、流量がゼロと判断していただいて良いかと思えます
- ・グラフは下流から順番に並んでいるが、みなさんの感覚とも合うかと思えますが、やはり全体的に台風が来たり大雨が降ったりする秋は、水がある程度流れていることが多くなります
- ・St5上砂二の橋、St6下砂橋は、工場の排水のすぐ下流なのでほぼ1年間安定して水が流れています
- ・最上流、武蔵村山区間のSt9、St10では、少ないながらもいつも流れています
- ・逆にSt2やSt3の、よく話に出る東村山の区間は、やはり測定できないことが多いということも見て取れます
- ・それからSt7、東大和の芋窪街道の立野橋も、工場の排水の上流側で大体いつ行っても水がないが、それがデータとしても表れています
- ・同じ時期同じ季節といっても、たまたま大雨が降った翌日は高い数値が出ることもあり、調査の目的からいって、そういう時はなるべく外してその年の一般的な流量が測れる時に測っていますが、長雨が続き普段よりも水量が多いデータになっているということもあるかもしれないのですが、そこまでは分析できません

副座長

- ・表で、値がゼロとブランクのところの違いを、確認させていただきたい。

事務局

- ・ゼロはほぼ水量が測れない、ブランクは水涸れしていて調査自体できないという意味かと思われる。立方メートル毎秒という単位を使っているので、ゼロは0.0001とか2とか本当に測れないくらいのみお筋はあった、というような違いだと思います。

都民委員

- ・実際に測った日にちを教えてください。4市でもやっているが、雨が降った翌日に測ったらしく、一昨年のデータがちょっとおかしかったので。

【地域別グループに分かれて意見交換】

事務局

- ・〇〇委員と〇〇委員からの資料は、各グループで使うということであれば、事前に説明した方がいいのではないですか。

◇川の「生態系ネットワーク」の実現を図るために／柳瀬川金山橋上下流 水辺改善策 (H30.6)

団体委員

- ・清瀬の分科会のために書いたものですが、初めとまとめの部分については、共通する内容になっているので、他の分科会においても理解していただけると有難いという主旨で書いています。

◇身近な水環境の一斉調査を行いました／空堀川の水量確保方法の検討 2018/6/26

都民委員

- ・A4の縦の資料。毎年6月の第1日曜日、全国的に水環境の調査をやっていますが、東村山地域では流量の調査も一緒にやっていて、その結果をまとめました。特に今回は流量について、2015年から4年間まとめてみましたが、例えば上橋では2015年0.39、去年もずいぶん減りましたが、今年はさらに10分の1くらい。7箇所測ることになっていますが、測れたのは3箇所だけ、こんな状況なので、やはり流量確保というのが一番重要な問題ではないかと思えます。
- ・A3の横長の資料。前回も出していますが、今回は初期コスト、運転コスト、実現可能性を考えて追加しました。議論していただいて、できればこれを今期の流連からの提言に。来年にはもう東村山全域で水が無くなってしまわないか、かなり緊急的な対策を取らないといけない時期になっているのではないかと思っているので、他のグループでも少し議論していただけたらと思います。

【全体報告】

(1) 下流：清瀬市グループ

団体委員

- ・まずアユとかオイカワとか魚の問題。産卵したり、逃げ込んだり、成長したり、そういった魚の生息環境に配慮した河川工事の断面や、施工時期を選んでいただきたいという話がありました。
- ・次はカワセミがテーマで、カワセミが営巣できるような川の形を残さないしは新たに作る。川の自然の保全や、再生に向けた河川管理を希望します。それは落差工の形であったり、断面の形であったり、施工方法であったり、施工時期の話であったりします。
- ・次に河道の中の樹木について深い議論になって、伐る伐らないというレベルではなく、その木が持っている価値・役割といったものを議論の対象にしていくべきではないか、木がある場所・配置であったり、木の形であったり、木が持っている役割であったり、実際の現場における樹木の機能・役割、そういったところに配慮した形での河川管理を希望したいという議論がありました。
- ・最後にゴミの問題。川をきれいにしようというのは、全国的に国民的な運動と言っていいくらい大きなテーマになっています。町中のゴミが川に集まって東京湾に出て、今、ゴミ問題は、世界の海洋を汚したり環境を破壊してしまったりするところまでできています。今日は入口の議論は終わったけれども、このゴミ問題は、柳瀬川・空堀川でも、この流連の中でも大きな課題・テーマになるのではないのでしょうか。

- ・今日の分科会は話が多岐にわたって、まとまりがなかったと言えどもまとまりがなかった議論だったのですが、それなりに、次回のまとめに向かってのステップになったのではないかと思います。

## (2) 中流：東村山市グループ

### 行政委員

- ・水量をどのように確保していくかが大きなテーマで意見交換をして、大きく二点ほど、取りまとめの方向性が見えてきました。一つ目が、雨水浸透枡の設置が一番の基本だということで、雨水浸透枡の必要性を、いろんなイベントを通してPRしていくというようなことも、最終回に向けてアイデア出しをして深度化していければと思います。
- ・もう一つが、東村山市内の途中で川の水が消えていく、地下に浸透してしまう要因は何かという原因の調査を、東村山市グループとして提言できないだろうかという意見が出ました。
- ・その他にも、中長期的に見てこういう提言もしたいという話が出てくる可能性もありますが、次期流連への引き継ぎ、もしくは東京都への提言として、まずは直近でできそうなところをまとめていきたいということで集約しました。

## (3) 上流：東大和市・武蔵村山市グループ

### 行政委員

- ・大きく水涸れの問題に関して議論をしました。内容としては前回と同じですが、粘土張りの効果検証や水源の確保・活用といったことについて主に話をして、まず粘土張りの効果検証ということに関しては、実態として湧水阻害の懸念もありますが、今後も進めていきながら、工事前後でしっかりとデータを取得して、粘土張りの効果検証が必要だといった議論がされました。水源の確保・活用ということに関しては、源流域の水場の保全、番太池、赤坂池のかいぼりによる機能の回復というような話もありました。
- ・その他に、雨水浸透枡の設置をさらに進めていく必要があるというような話もありました。設置がなかなか進まない現状もあるので、市民の意識を向上するためのPR活動も必要ではないかという意見が出されました。
- ・水源の確保に関しては、流域全体として考える必要がある、水循環基本法の考え方を踏まえていく必要があるということで、流域連絡会から水循環基本法の協議会というような位置づけにできないかということについて、今後、分科会だけではなく流域連絡会全体の中での議論をした上で検討していく必要があるというような話が出ました。
- ・新しい話としては、分科会で源流域の現地見学をしながら、具体的に、自治体が何をすべきか、市民が何をすべきか、といった議論をしたいというような意見もありました。これに関しては、もう次回で取りまとめというところなので、第9期に向けての引き継ぎ事項として挙げていきたいということになっています。

## 【その他】

### (1) 第34回クリーンアップ 空堀川夏の清掃活動 7月21日(土)

#### 副座長

- ・7月21日に「空堀川夏の清掃活動」と称して、通算第34回のクリーンアップを行いたいと思っています。春と秋は、東村山市「空堀川に清流を取り戻す会」と一緒に同日開催でやっていますが、夏は単独で開催しています。

- ・これまで東村山市との市境の清水富士見緑地を集合場所にしていましたが、整備工事が上流まで伸びているので、今回から東大和第四小学校近くの上砂一の橋右岸の広場、流域連絡会の樹木イベントとしてエノキとムクノキを交互に植えた場所ですが、その広場を集合場所にして開催したいと思っています。ご都合のつく方はご参加いただければ有難い。
- ・なお、これは柳瀬川・空堀川流域連絡会クリーンキャンペーン参加事業と称して、当流域連絡会でご承認・ご確認をいただいた活動として継続してやっています。流域連絡会が都民・市民のためにあるということ、そこで了解を得て開催をしている事業だということを確認してもらうために、あえて入れているということで、ご理解をいただければと思います。

## (2) 川の「生態系ネットワーク」の実現を図るために

### 団体委員

- ・第8期のまとめという意味合いもあって、各分科会での意見交換の報告を聞いた上で、気がついたことをお話させていただきます。
- ・各分科会が担当している区域において生態系ネットワークの実現が図れる場所については、積極的にやっていただけてはどうかということ。川には流れがあるが、まずピンポイントでできることからやる以外にないだろうと思います。それから、上流の方には旧川があり、つい2～3年前までの生態系ネットワークが存在しています。そのことを各分科会の中のテーマの中で活かしていただければ、本当に有難いことだと思います。

## (3) 次回開催予定について

※事務局が、次回開催予定について提案を行い、調整の結果、以下のとおり決定した。

- ・次回開催：8月24日金曜日 14時～16時 北多摩北部建設事務所 3階第5会議室
- ・予備日：8月23日木曜日 14時～16時 北多摩北部建設事務所 3階第5会議室

以上